

R4.1.18 全校朝礼 校長講話内容

- おはようございます。
- 感染拡大が止まりません。引き続き、感染症対策を進めるとともに、体調が悪い場合は無理しないようにしましょう。
- 昨日は阪神淡路大震災から27年の日でした。27年前、皆さんが生まれるずっと前のことですが、私（校長）は今も鮮明に覚えています。（1年生は校外学習で学んだことですね）
- 午前5時46分、今まで経験したことのない揺れ、2階で寝ている私に父が大きな声で「大丈夫か」と叫んでいたことを今も憶えています。
- 直後は被害の状況もわからず、私は出勤し、何なら勤務する中学校でマラソン大会に向けた練習をしていました。
- 当時私が担任していた生徒は「めっちゃ揺れたな」や「本棚倒れてきてびっくりした」など話していました。
- 授業は通常通り行われたのですが、休憩時間に職員室に戻るたび、校長室にあるTVから流れてくる被害状況、高速道路の横倒しやビルの倒壊、まるで映画のような光景を見て「これは…現実？ 大変なことになったな…」と感じました。
- 夕方、車で自宅に帰る途中も余震で道路が揺れ、急停車したこともありました。こんな経験はそれ以降、ありません。
- この週末は、トンガ沖の海底火山の大規模噴火に伴う津波？がありました。
- 科学が発達している現代であっても、第一波の到達時間の予測ができなかったようで、「まだまだ人間が解明できていないことがたくさんあるなあ」と思いました。
- 感染症や自然災害、私たちが生きていくうえで予期せぬことが起こります。そのとき、慌てず少しでも落ち着いた行動をとるには、普段からの備えが大切です。
- 地震がおこったらまずどういう行動をとるのか、トラブルに巻き込まれたらどうすべきか、3年生は面接で予期せぬ質問がきたらどうするのか、全ては日頃からの準備です。
- 「備えあれば憂いなし」、準備しておけば、慌てず落ち着いて考えることができます。受験も同じ、過去の問題を知っておけば少し安心します。部活動でも多くの練習が試合当日の落ち着いたプレイに繋がります。
- 本来なら今日は学校全体の公開授業の日でした。大阪府内からたくさんの先生が来る予定でしたが、感染状況を踏まえ、いくつかお断りをして大阪狭山市内から10名の先生が参加する程度に縮小しました。
- それでもみんなの頑張りをみていただきたい機会です。学校にお客様がこられたら、どのようにふるまうべきか、シミュレーションしてください。「備えあれば憂いなしです」、以上で私の話を終わります。